

重点的に取り組む主な経営課題



経営課題3

【気にかける・つながる・支えあう地域福祉】

めざすべき将来像（最終的なめざす状態）＜概ね10～20年間を念頭に設定＞

支援を要する人が孤立せずに、適切な支援につながる状態
全ての区民が健康に関心を持ちいきいきと生活できている状態

現状（課題設定の根拠となる現状・データ）

【天王寺区における65歳以上の人口の割合】

令和2年 15,324人/82,148人(18.7%)
平成27年 14,529人/75,729人(19.2%)
平成22年 12,680人/69,775人(18.2%)
平成17年 11,387人/64,137人(17.8%)
人口、65歳以上人口ともに増加している。
高齢化率 18.7%(市24.6%、国28.6%)(令和2年国勢調査)

65歳以上で一人暮らしの割合 40.0%(市42.4%、国27.3%)
(平成27年国勢調査)

「不安や悩みを相談できる相手や、交流する機会を持たない」と回答した75歳以上の高齢者 14.1%(令和3年度 区民アンケート)

天王寺区要介護者認定者数

平成26年度 3,284人
平成27年度 3,348人(対前年度 64人増)
平成28年度 3,397人(対前年度 49人増)
平成29年度 3,534人(対前年度 137人増)
平成30年度 3,653人(対前年度 119人増)
令和元年度 3,696人(対前年度 43人増)
令和2年度 3,831人(対前年度 135人増)

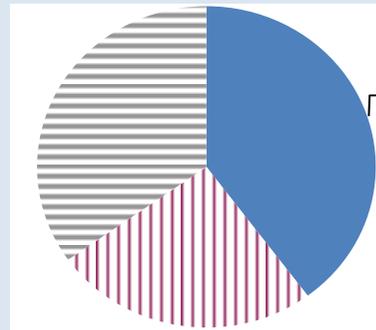
「健康に関する取組を行っている」と回答した区民の割合（区民アンケート）

平成29年度 58.5%
平成30年度 56.1%
令和元年度 75.2%
令和2年度 72.0%
令和3年度 74.3%

天王寺区のがん検診受診率

胃がん 令和2年度4.5% (大阪市4.6%) [24区中10位]
大腸がん 令和2年度7.5% (大阪市6.7%) [24区中9位]
肺がん 令和2年度5.4% (大阪市5.5%) [24区中10位]
子宮頸がん 令和2年度23.8%(大阪市16.4%) [24区中1位]
乳がん 令和2年度15.0%(大阪市11.2%) [24区中2位]

その他の世帯 34.4%

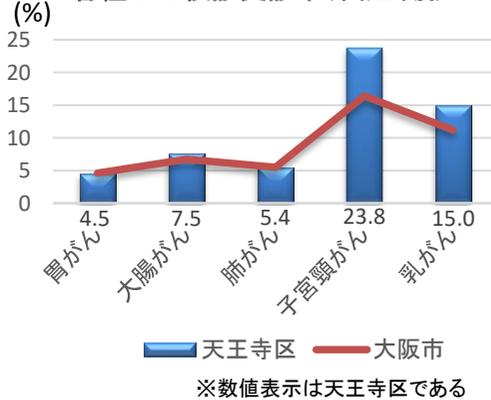


ひとり暮らし 40.0%

夫婦のみ世帯 25.6%

65歳以上の人がいる世帯の状況 (天王寺区) (平成27年国勢調査による)

各種がん検診受診率(令和2年度)



要因分析（めざすべき将来像と現状に差が生じる要因の分析結果）

- ・65歳以上の高齢者世帯のうち4割が独居高齢者であり、国の平均を大きく上回っており、また普段から周りとの交流機会を持たないなど、急病時・災害時において孤立化する高齢者が相当数いると考えられる。
- ・要介護者認定者数が年々増加しており、介護予防のための健康保持増進の取組が十分でないと考えられる。
- ・がん検診受診率が市平均を下回るものがあり、健康意識が低いことが考えられる。

課題（上記要因を解消するために必要なこと）

- ・「天王寺区地域福祉ビジョン」の推進。
- ・教育機関・企業・NPOなども巻き込んだ重層的な見守り体制の構築。
- ・高齢者の交流機会の充実。
- ・健康保持増進の取組のさらなる推進。
- ・がん検診受診の意識づけの周知の強化。

戦略の進捗状況を踏まえた経営課題全体としての評価結果の総括

令和4年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止等の影響により、孤立した高齢者や要介護者の複雑化・多様化・深刻化する生活課題が顕在化する中、区独自事業である「独居高齢者等見守りサポーター事業」や24区で実施している「要介護者見守りネットワーク強化事業」により地域による見守り活動は継続されており、必要な支援へつなぐなど地域における見守り体制は着実に構築されてきている。引き続き、当事業を推進させると共に、地域や関係機関・団体と連携を更に深め、高齢者、要介護者等の見守り支援体制の強化を目指す。

計画

中期評価

めざす成果及び戦略 3-1 【支援を要する人への適切な支援】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定> ・支援を要する人が孤立せずに、適切な支援につながる状態		戦略（中期的な取組の方向性） ・地域で実施されている活動と連携し、見守りが必要な独居高齢者等の生活や体調の異変を早急に察知して対応する見守り体制の構築 ・避難行動要支援者名簿に登録されている要援護者に対する、地域における平時の見守りと災害時の避難支援への備えの強化	
	アウトカム（成果）指標（めざす状態を数値化した指標） ・要援護者や独居高齢者等のうち、名簿の同意を得られた方の割合 50% 令和8年度【重点目標】			

自己評価	戦略のアウトカム指標に対する有効性	ア	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、戦略を見直す		課題 ※有効性が「イ」の場合は必須	
	アウトカム指標の達成状況		前年度	個別	全体	—
	要援護者や独居高齢者等のうち、名簿の同意を得られた方の割合 25.2%		28.9%	B	B	—
	A:順調 B:順調でない					今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須
戦略の進捗状況	b	a:順調 b:順調でない			—	

具体的取組 3-1-1 【独居高齢者等見守りサポーター事業】★

2決算額 5,180千円 3予算額 5,262千円 4予算額 5,262千円

計画	当年度の取組内容	プロセス（過程）指標（取組によりめざす指標） ・要援護者や独居高齢者等のうち、名簿の同意を得られた方の割合 38% 【撤退・再構築基準】 10%未満の場合には事業を再構築する。	
	地域住民などを中心としたボランティアが、75歳以上で介護サービスを受けていない等の独居高齢者、高齢者のみ世帯の家庭訪問を行い、医療・介護等の課題への早期発見・早期対応を図る。 ・令和4年度の新規対象世帯から見守り訪問同意者を把握し、定期的な訪問 ・平成25～令和3年度に見守り訪問に同意され、引き続き見守りを希望される世帯については訪問を継続する。 ・当初、見守り訪問に同意されなかった今年度80歳の方を対象に、再度、見守り訪問の意向確認を行う。 ・随時、見守りの受付をしていることを周知する。	前年度までの実績 ・令和3年度 ※達成状況 28.9% ・令和2年度 ※達成状況 35.2% ※本事業による見守り実施地域内の対象世帯については月1回程度定期的に訪問、実施地域以外の対象世帯については2~3ヶ月に1回程度定期的に訪問など	

中間振り返り	プロセス指標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須	
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退・再構築基準未達成		
	戦略に対する取組の有効性	ア	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、取組を見直す —:プロセス指標未設定(未測定)

自己評価	当年度の取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須 区民に対して、様々な機会を利用し本事業の内容・趣旨について周知・広報活動を推進するとともに、新規対象者のうち同意を得られる方の増加を図る効果的な取組が必要。	
	令和4年度の本事業対象426世帯に対して見守り希望を調査し、希望された35世帯を新規対象者とした。また令和4年度に80歳に到達した262世帯に対して、再度見守り希望を調査し、希望された23世帯を新規対象者とした。合わせて、地域における要援護者の見守り強化事業の新規対象者497人のうち、241人から同意が得られた。		
	プロセス指標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須 ・委託事業者(区社協)に設置している見守り相談室と連携し、積極的かつ効果的に周知・広報活動を行っていく。 ・令和2年度から80歳になった方に再度登録の勧奨を行っており、令和4年度は23世帯の方から同意を得たことから、今年度についても前回不同意であった対象者を含め、令和5年度80歳になる方に再度登録の勧奨を行う。 ・地域役員や民生委員、地域の活動者から得た情報を生かし、見守り登録へつなげていく。	
	要援護者や独居高齢者等のうち、名簿の同意を得られた方の割合 25.2%	② (i)	
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退・再構築基準未達成		
戦略に対する取組の有効性	ア	ア:有効であり、継続して推進 イ:有効でないため、取組を見直す —:プロセス指標未設定(未測定)	

具体的取組3-1-2

【地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業】★

2 決算額 12,634千円 3 予算額 12,634千円 4 予算額 12,634千円

計画	<p>当年度の取組内容</p> <p>避難行動要支援者名簿に登録されている要援護者に対して、地域における平時の見守りと災害時の避難支援への備えを強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 要支援者名簿にかかる同意確認・名簿整備 対象者 新たに要支援者名簿に登録される方(約500人) 「見守り支援ネットワーカー」による孤立世帯等への専門的対応 随時 「認知症高齢者見守りネットワーク」による徘徊者保護 随時 	<p>プロセス(過程)指標(取組によりめざす指標)</p> <p>「要援護者名簿」の提供にかかる同意が得られた対象者数 200人以上 【撤退・再構築基準】 120人未満の場合には事業を再構築する。</p>
	<p>前年度までの実績</p> <p>令和3年度 同意が得られた対象者数 255人(新たに対象となった高齢者・障がい者・難病患者等)</p> <p>令和2年度 同意が得られた対象者数 294人(新たに対象となった高齢者・障がい者・難病患者等)</p> <p>令和元年度 同意が得られた対象者数 280人(新たに対象となった高齢者・障がい者・難病患者等)</p> <p>平成30年度 同意が得られた対象者数 259人(新たに対象となった高齢者・障がい者・難病患者等)</p> <p>※令和2年度末現在の同意が得られた要援護者数 1,644人</p>	

中間振り返り	<p>プロセス指標の達成状況</p> <p>①: 目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退・再構築基準未達成</p>	<p>課題と改善策 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須</p>
	<p>戦略に対する取組の有効性</p> <p>ア: 有効であり、継続して推進 イ: 有効でないため、取組を見直す ー: プロセス指標未設定(未測定)</p>	

自己評価	<p>当年度の取組実績</p> <ul style="list-style-type: none"> 要支援者名簿にかかる同意確認・名簿整備を対象者約500人に実施 「見守り支援ネットワーカー」による孤立世帯等への専門的対応 「認知症高齢者見守りネットワーク」による徘徊者保護 	<p>課題 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須</p> <p>—</p>
	<p>プロセス指標の達成状況</p> <p>「要援護者名簿」の提供にかかる同意が得られた対象者数 241人 ① (i)</p> <p>①: 目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退・再構築基準未達成</p>	<p>改善策 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須</p> <p>—</p>
	<p>戦略に対する取組の有効性</p> <p>ア</p> <p>ア: 有効であり、継続して推進 イ: 有効でないため、取組を見直す ー: プロセス指標未設定(未測定)</p>	

めざす成果及び戦略 3-2 【健康のための取組の強化】

計画	めざす状態<概ね3~5年間を念頭に設定> ・健康保持増進に取り組む区民の増		戦略（中期的な取組の方向性） ・健康保持増進の取組を行う機会を充実する。	
	アウトカム（成果）指標（めざす状態を数値化した指標） 区民アンケートで「健康に関する取組を行っている」と回答した区民の割合 80% 令和8年度			
自己評価	戦略のアウトカム指標に対する有効性	ア	課題 ※有効性が「イ」の場合は必須	
	アウトカム指標の達成状況		前年度	個別
	区民モニターに当該回答をした区民の割合 77.3%		74.3%	A
	戦略の進捗状況	a	A: 順調 B: 順調でない	
				今後の対応方向 ※有効性が「イ」の場合は必須

具体的取組3-2-1 【健康推進に関する事業】

		2決算額	36千円	3予算額	89千円	4予算額	89千円
計画	当年度の取組内容 ・区職員が地域に出向き、健康に関する出前講座を実施する。 ・出前講座では、「栄養」「感染症予防」をはじめ、介護予防に繋がる「健康体操（ももてん体操・いきいき百歳体操など）」など幅広く行い、健康づくりに関する関心を高める。 出前講座の実施 18回以上 ・本市において最も死亡率の高いがんについて、がん検診の周知や受診勧奨を行い、がんの予防啓発を行う。		プロセス（過程）指標（取組によりめざす指標） 出前講座を受講して健康に関する関心が高まった受講者の割合 60% 【撤退・再構築基準】 30%未満の場合には事業を再構築する 前年度までの実績 出前講座を受講して健康に関する関心が高まった受講者の割合 令和3年度 11回実施 ※達成状況 100% 令和2年度 10回実施 ※達成状況 100% 令和元年度 25回実施 ※達成状況 89.9% 平成30年度 24回実施 ※達成状況 91.4%				
	中間振り返り	プロセス指標の達成状況	課題と改善策 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須				
		①: 目標達成(見込) (i) 取組は予定どおり進捗 (ii) 取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i) 取組は予定どおり進捗 (ii) 取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退・再構築基準未達成					
	戦略に対する取組の有効性	ア	課題 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須				
自己評価	当年度の取組実績 ・出前講座の実施 19回 令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大期(第7波、第8波)の厳しい環境を経過後、新たな段階(withコロナ)への移行を念頭に、感染防止対策に十分配慮の上で、高齢者や子育て層を中心に令和3年度実績を上回る19回を実施した点は、十分に評価できる。 ・がん検診の受診勧奨 がん検診周知用ポスターの作成 1回 区広報紙特集号(令和5年4月)で検診受診に関する情報等を掲載		課題 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須				
	プロセス指標の達成状況 出前講座を受講して健康に関する関心が高まった受講者の割合 100%		①	改善策 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須			
	①: 目標達成 (i) 取組は予定どおり実施 (ii) 取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i) 取組は予定どおり実施 (ii) 取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退・再構築基準未達成		(i)				
	戦略に対する取組の有効性		ア	課題 ※左記に「②、③」、「イ」がある場合は必須			
		ア: 有効であり、継続して推進 イ: 有効でないため、取組を見直す 一: プロセス指標未設定(未測定)					